

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	生命環境学部	生命科学科	専攻	生命システム科学専攻
職氏名	教授	三羽 信比古		
専門分野	細胞死制御工学	分子薬理学	細胞生化学	抗がん薬理学

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	複合科目「バイオと環境」	細胞生化学	生命工学実験Ⅰ	卒業論文
(大学院)	細胞死制御工学	細胞情報制御学実験	生命システム科学特論Ⅰ	生命システム科学特別講義
	生命システム科学特論Ⅱ	研究動向調査演習	研究企画論	研究プレゼンテーション演習
(2)教育関係特記事項	3キャンパス中継の遠隔講義、担当。博士課程後期2名、博士課程前期4名、卒業論文研究15名、各指導。			

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	(1)Apoptosis prevention in neuronally differentiated PC12 cells, by bcl-2 gene transfection in the differentiated state, with retention of neuron-specific proteins and blockage of mitochondrion-relayed apoptotic pathway: Saitoh Y, Masumoto S, ..., Miwa N: Gene Therapy Mol Biol 11:275-288,2007	平成19年度
	(2)Anti-tumor and anti-invasive effects of diverse new macrocyclic lactones, alkylolides and alkenylolides, and their enhancement by hyperthermia: Tanaka H, Kageyama K, Kusumoto K, Miwa N: Oncol Reports 18: 1267-1262.2007	平成19年度
	(3)Anti-tumor and anti-invasive effects of diverse delta-alkyl-lactones: dependence on molecular side-chain length, action period and intracellular uptake.:Tanaka Y, Kageyama K,... , Miwa N. : Life Sci 24: 1851-1855. 2007	平成19年度
	(4)Age-dependent telomere-shortening is repressed by phosphorylated tocopherol together with cellular longevity and oxidative-stress reduction in human brain endothelialocytes.:Tanaka Y, ..., Miwa N.:J Cell Biochem.102:789-703.2007	平成19年度
	(5)Effects of ethyl-esterization, chain-lengths, unsaturation degrees, and hyperthermia on carcinostatic effect of omega-hydroxylated fatty acids: Kusumoto K, Kageyama K,..., Miwa N: Exptl Oncol; 29:106-110.2007	平成19年度
(2)著書	松林賢司、笹川愉美子、伊東忍、寺島洋一、三羽信比古: 総ページ数: 7頁, 抗老化(アンチエイジング)化粧品/素材の開発。In: 「化粧品開発における各種有用性評価技術と付加価値向上のポイント」(ISBN番号付)、第3章: 各製品別高機能化粧品の最新開発動向と有用性評価 第7節, pp.126-132, (株)技術情報協会, 2006年	平成19年度
	河村卓也、斉藤 靖和、加藤 詠子、続木 敏、三羽 信比古: 「抗しわ活性ビタミンC誘導体と分子メカニズム」アンチ・エイジングシリーズ第2巻「皮膚の抗老化最前線」ISBN4-86043-104-9 C3047, 第3部・第1章・第2-2節, pp.201-230、NTS出版、2006年	平成18年度
	三羽信比古: 「ビタミンC高含有果実アセロラ的美肌サプリメントとしての効果」, アンチ・エイジングシリーズ第2巻「皮膚の抗老化最前線」ISBN4-86043-104-9 C3047, 第3部・第2章・第4節, pp. 339-357、NTS出版、2006年	平成18年度
(3)学会発表等	(1)The 6th ACPA International Conference: 28-30 September 2006, Singapore; American Chinese Pharmaceutical Association, Yoshiaki Kawashima, Hiroyuki Tsujimoto, Kaori Hara, Yusuke Tsukada, Nobuhiko Miwa: Development of Functional Cosmetics by Using PLGA Nanospheres with Vitamin C, E and A	平成18年度
	The 8th Asian Society of Cosmetic Scientists Conference March 2006, The innovative anti-oxidant, fullerene derivative named as Radical Sponge® (). An evaluation for its whitening effects as an premier anti-aging cosmetic ingredient for skincare. K. Matsubayashi, S.Ito, H. Aoshima, Y. Terashima and N. Miwa	平成17年度
(4)工業所有権等	水溶性フラレンとその製造方法並びに抗酸化組成物と外用組成物(公開日 2006.3.16、公開番号 W02006/028297)(出願日 2005.9.9、出願番号 PCT/JP2005/017094) 出願人: ビタミンC61バイオリサーチ 株式会社/発明者: 大島 巧 .三羽 信比古 外4名	
	化粧品、フラレンと -シクロデキストリンの複合体の製造方法、フラレンと -シクロデキストリンの複合体溶液およびその製造方法(公開日 2006.10.19、公開番号 W02006/109774)(出願日 2006.4.10、出願番号 PCT/JP2006/307575) 出願人: ビタミンC60バイオリサーチ 株式会社/発明者: 高田 弘弥 .三羽 信比古 外1名	
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表) 3件 科学研究費補助金(分担) 件 その他外部資金 43件	
(6)研究関係特記事項	NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、経済産業省傘下法人)フラレンプロジェクト代表者 平成18、19年度	

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	該当なし
(2)公開講座等	市民公開講座「老化防御医学セミナー」 2007年10月、福山市民参画センター於、日本老化防御医学センター主催
(3)地域貢献特記事項	【上掲の「公開講座・講演会」の明細】市民公開講座「わかりやすい老化防御医学セミナー“老化・がん・細胞死を防ぐバイオ”」、講演1回 福山市民参画センター於、“水素リッチ水による抗がん効果と美肌効果～ナノ水素が活性酸素を無毒化する～” 2007年10月、特定非営利活動法人 日本老化防御医学センター主催

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等	実験動物施設管理委員会	動物倫理委員会
	学部共通備品機種選定委員会	学生チューター
(2)大学運営特記事項		

以上は、主要な活動について掲載しています。